講義名	基礎簿記			授業形態	その他					
meas m				12,94,17,103	$\dashv \vdash$					
担当教員	早川翔	開講期・曜日・時限 後期 月曜日 2時間	艰							
123秋泉	+//I ros	単位数 2 履修開始年次 1年生	ナンバリング	7 · □ ACC140	 					
		单位数 2 腹疹用焰牛从 1 年生	_ F	ACC140	_					
主題と概要					授業計	=				
類記とは、企業経営の通程や結果を合計的に記載する技術です。 構造記に対する課券を決めることで、企業経営におけて発生する取引や金銭の法れを知ったり、企業の財政状態が良いかどうかを把握できます。 したがって、薄泥の知識は企業経営に関わる経営者だけではなく、企業に対して投資、融資を行う投資を保証行為にとっても必要だと言えるでしょう。 本講義は、根式派記に関する基礎的な内容を無難し、企業経営に関わる会計学の考え方を習得することを目的とします。					第1回 瀬紀とは何か 予留内容 - 瀬記について調べ、瀬記を学ぶ直義について自分なりの考えをまとめておく(120 分) 復国内容 - 瀬蔵にフリントを整理・復国し、授業内容の理解を深めること(120分)					
したかって、海池の知識は企業経営に関わる経営者だけではなく、企業に対して投資・服貨を行っ投資家で銀行員にとっても必要だと言えるでしょう。 本講義は、複式海記に関する基礎的な内容を理解し、企業経営に関わる会計学の考え方を習得することを目的とします。										
					第2回 予習内 復習内	資借対照表と損益計算書 容:貸借対照表と損益計算書ついて調べておく(120 分) 容:講義ブリントを整理・復習し、授業内容の理解を深める	こと(120分)			
					第3回 予習内 復習内	士訳と転記 字: 仕訳と転記ついて調べておく(120 分) 字: 講義ブリントを整理・復習し、授業内容の理解を深める	こと(120分)			
					第4回 予習内 復習内	商品売買取引 :三分法と分記法 客:三分法と分記法ついて調べておく(120 分) 客:講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深める	こと(120分)			
到達目標 					第5回 予習内 復習内	第5回 商品売買取引 : 掛けや返品 予留内容: 掛けや返品 いて調べておく(120分) 復国内名: 浦義ガリントを受意・復習し、授業内容の理解を深めること(120分)				
商学部計議のデイプロマポリシーである「供給者と生活者の機関的現点に立ち、マネジメントの諸問題を解決する」を踏まえ、下記の3つの別遠目様を設定しています。 (小瀬紀の基本的な考え方である仕跡が目標表の作品方法を学修し、経営における諸活動が財務数値にどのように反映されるかを理解できる能力を発しつける。 (2)日南海記修定初級の合格に必要な能力を身につける。 (3)会計の専門身村と阿根方が見後さ、アライゲンス等)の科目の学修に際して役立つであるうる基礎的な知識を身につける。				200.00	第6回 現金預金 千箇内容: 現金預金の11で調べておく(120 分) 復園内容: 連載デリントを整理: 復富し、授業内容の理解を深めること(120分)					
(-,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					手形と電気記録債権 客:手形と電気記録債権ついて調べておく(120 分) 客:講義ブリントを整理・復習し、授業内容の理解を深める				
						 有形固定資産、未収金・未払金 字:有形固定資産ついて調べておく(120 分) 字:講義ブリントを整理・復習し、授業内容の理解を深める				
				第9回	復留内容: 講義プリントを整理: 復留し、授業内容の理解を決めること(120分) 第9回 その他の回引と約半のまた。 予習内容: 第8回までの資料を読み、復習しておく(120分) 復留内容: 講義プリントを整理: 復習し、授業内容の理解を決めること(120分)					
是出課題					第10回 予習内	復留内容: 講義プリントを登埋・復留し、授業内容の埋解を深めること(120分) 第10回 決算手続とは 予習内容: 決算手続ついて調べておく(120 分) 復習内容: 講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深めること(120分)				
毎回の講義で練習問題を実施します。				第11回	福田内台・勝野ノリノドを支生・復日し、「採集付きの定義を示めること(120万) 第11回 東金島市区、減価機関は、質明引き金 予習内容・減価機関かには何かついて調べておく(120 分) 福富内容:「議費ブリントを整理・復留し、授業内容の理解を深めること(120分)					
					第12回	号:調義プリジトを整理・復留し、授業内容の理解を深める 売上原価の算定と消費税 客・売上原価とは何か調べておく(120 分) 客:講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深める	- L (1207)			
						音: 調義				
					(福田)台・					
- GR5 / I - 北 I I	E 1					ら:講義プリントを整理・復習し、授業内容の理解を深める 後半のまとめ	こと(120分)			
	・や小テスト等)に対するフィードバックの方法 問題の解説を行います。					態(アクティブ・ラーニング)				
次回の技業の旅	I I TORES CONTRIBUTED IN THE CON					ア:PBL(課題解決型学習)			イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)	
					- 1 ⊢	ウ:ディスカッション、ディベート オ:ブレゼンテーション		_	エ:グループワーク	
					- 1 ⊢	4 : その他(AL型であるけども、以上の項目のいずれに	未該当しない場合)		カ:実習、フィールドワーク	
					1					
					卒業認	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
							5の目標を達成することで、企業経営を行	うう上	で発生する取引の会計学的な側面について知ることができる。このような知識は、企業マネジメント にされている企業の財政状態、経営成績を分析する上での初歩的な知識を身につけることができる。 に対して貴郎できるからである。	
評価の基準					た、目	向趙休泉、課趙姓条に仅立つ。また、芸計コースのDF と 標(3)の達成により、DP で提示されている企業が直面する	にも見取する。日標達成により、DP 5問題や企業の強みを発見した経営戦略の	の構築し	たされている正案の財政状態、経昌成績を方析する上での初歩的な知識を身にプリることができる。 に対して貢献できるからである。	
期末テスト (100	%)で評価を行います。									
匿修にあたっての注意・助言他					双方向	受業の実施及びICTの活用に関する記述				
・薄記は積み重ねが重要な学問なので、休むと次回以降の内容がわからなくなるります。 ・投業では計算問題を扱うことがあるため、電卓が必要です。					プリン 毎回	ト資料 の講義で使用します。				
				ch 74 47	実務経験の有無及び活用					
				美務詮	映の有無及び活用					
教科書										
.使用しない.										
					備考					
参考図書										
.なし.										
					\dashv					